

ホスホマイシン投与牛はEU等に輸出できなくなります

～獣医師の皆様、必ずご確認ください～

出生からと畜されるまでの間、『ホスホマイシン』という抗菌剤が投与された牛は、EU等向けに輸出ができなくなります。

(2023年3月3日にEU等における規則が変更し、移行期間を経て2026年9月3日から適用)

そのため、ホスホマイシンを治療に使用する場合は、畜産農家に以下のことを確実に伝えてください。

- ホスホマイシン製剤を使用した牛はEU向け輸出ができなくなる。
- 出荷や移動時に使用履歴に関する申告書の提出を家畜市場や移動先の農家に求められ、上場時に使用履歴が開示される可能性がある。

※また、すでに対象となる牛は生まれていますので、畜産農家からホスホマイシンの使用の確認があった場合は、該当牛に対する使用履歴を正確に伝えてください。

◆ホスホマイシンが使われている製剤◆

- ・動物用ホスミシンS
- ・ホスミシン細粒40%
- ・ホスホマイシン注「フジタ」

「別紙」にホスホマイシンに代わるワクチンや抗菌剤を記載したので参考としてください。

～対応スケジュール～

- 2026年9月3日以降にEU等に輸出される牛肉から対応が必要となるため、対象となる牛はすでに出生しています！



～対象製剤の適正な使用・記録にご協力をお願いいたします～

【問い合わせ先】

栃木県農政部畜産振興課 TEL：028-623-2347 (生産流通担当)
028-623-2352 (家畜防疫班)

ホスホマイシンに代わるワクチンや抗菌剤の一覧

ホスホマイシンに代わるワクチンや抗菌剤(令和6年3月1日現在)を以下に示しますので参考にしてください。

1. ワクチン

	パスツレラ性肺炎	大腸菌性下痢症	サルモネラ症
牛	1 製剤 (“京都微研 _® キャトルバクト3)	3 製剤 (“京都微研 _® 牛下痢5種混合不活化ワクチン、同II、牛用大腸菌ワクチン〔imocolibov _® 〕)	2 製剤 (牛サルモネラ2価ワクチン、ポピリスS)

2. 代替抗菌剤

① パスツレラ性肺炎：19成分

アモキシシリン	アンピシリン	ベンジルペニシリンプロカイン
セファゾリン	セフキノム	セフトオフル
カナマイシン	ガミスロマイシン	チルミコシン
ツラスロマイシン	オキシテトラサイクリン	クロルテトラサイクリン
エンロフロキサシン	オルビフロキサシン	マルボフロキサシン
ダノフロキサシン	フロルフェニコール	チアンフェニコール
スルファモノメトキシシリン/オルメトプリム		

② 大腸菌性下痢症：13成分

アモキシシリン	アンピシリン	セファゾリン
オキシテトラサイクリン	クロルテトラサイクリン	オルビフロキサシン
エンロフロキサシン	オキシリン酸	ゲンタマイシン
カナマイシン	ストレプトマイシン	ピコザマイシン
コリスチン		

③ サルモネラ症：10成分

アンピシリン	セファゾリン	オキシテトラサイクリン
クロルテトラサイクリン	オキシリン酸	ゲンタマイシン
カナマイシン	ストレプトマイシン	ピコザマイシン
コリスチン		

※具体的な製剤については、動物用医薬品等データベース(<https://www.vm.nval.go.jp/>)をご参照ください。



(動物用医薬品等データベースQRコード)